

制御情報工学科

コンピュータはいまや仕事だけでなく、家庭でもなくてはならないものになりました。コンピュータが使えるのは当たり前になり、より高度な使い方が必要となっています。制御情報工学科では、コンピュータの使い方から始まり、プログラムの作成やネットワークの構築など社会に必要なコンピュータの勉強を幅広く行い、これからの社会が必要とする人材の育成を行っています。高専の大きな目的であるものづくり技術を学ぶため、コンピュータ以外にもレゴを使ってロボットを作ったり、自分でロボットを設計して製作する実習もあります。

また、コンピュータに限ったことではありませんが、最近は英語を使う機会が多くなっています。興味のあることをホームページで調べると、新しいことは米国のホームページにたどり着くことがよくあります。そのために、高学年では専門に必要な英語の学習を取り入れ、社会に出てからも困らないように授業内容も工夫しています。



工学実験



情報処理



情報リテラシー



専門の授業



ロボットの製作



学生が自分で作ったロボット